



### フィルム処理本数が減少した場合の注意点について

デジタルカメラの普及によりフィルムの処理本数が減少しているなか、各ミニラボ店様におかれましてはフィルムプロセッサの現像レベル維持に、日々苦心されていることと思います。

本資料では、お客様がそれらの状況に対応する時、特にご注意頂く必要のある重要項目についてまとめております。今後の処理液管理に是非お役立てください。

#### 記

処理量が減少した場合、現像レベルを維持、管理するためには、次の6項目が重要となります。

#### 1. コントロールストリップ(コンスト)の処理

処理液の現像能力は、気温、湿度(蒸発) 処理したフィルムの種類や処理量等によって、毎日少しずつ変化しています。特に処理量が減少して液が疲労し易くなっている現在、その重要度はより増えています。コントロールストリップは処理液の能力を知るために最も適したツールですので定期的に処理し、濃度管理されることをお奨めします。

お店で測定できない場合は代理店等にご相談頂き、コンスト測定サービスをご利用ください。

効果： 現像したコンストをリファレンスと比べることで、処理液の異常を見つけ易くなる。コンスト測定サービスを利用することで、少処理対策についての的確なサポート(補充量UPなど)を随時受ける事ができる。

#### 2. 回転率の確認

毎日のフィルム処理に伴う補充により、プロセッサタンク内の液が1ヶ月で入れ替わる割合を回転率と言います。処理量が減り回転率が下がると、処理液がタンク内に滞る時間が長くなるために空気酸化や蒸発等の影響を受け易くなり、劣化が進む事になります。

効果： 回転率をチェックすることで、少処理に対する対応の必要度を把握できます。

回転率	対応の必要度(目安)
1.0 回転以上	少処理対応(補充量UP等)の必要はありません。
0.7~0.9 回転	定期的にコンストを処理して、現像レベルの変動に注意を払う必要があります。
0.4~0.6 回転	定期的にコンストを処理して、少処理対応を行う必要があります
0~0.3 回転	定期的にコンストを処理して、少処理対応を行う必要がある他、液の状態によっては、処理液の交換が必要となります。

\* 少処理対応については、代理店等にご相談ください。

回転率は、1ヶ月の処理本数（135-27exp 換算）を下表の数値で割ることで、近似値として得ることができます。

回転率 1 回転/月の維持に必要なフィルム本数（135-27exp）

MFC-11 処理剤

機種	本数 / 月
V30	318
V50	758
V100	1361
B26LN	482
B50LNA	1043
B94LNA	1885

FSJ-LR2 処理剤

機種	本数 / 月
J30VF	366
J50VF	872

### 3. 駆動時間の短縮

プロセサーにはフィルムの付いたショートリーダーを搬送するための駆動スイッチがありますが、これを入れたままにしておくと、上部ローラーの回転によって空気との接触が増え、空気酸化や蒸発等の影響を受け易くなり、劣化が進んでしまいます。

効果： 現像していない時は、こまめにプロセサーの駆動を止めると劣化が少なくなります。

### 4. 温調時間の短縮

プロセサーには毎日の始業点検時までには処理液の温度を上げておくためのタイマー温調機能がありますが、早朝のあまり早い時間からこの機能を使うと、処理液温度の高い時間が長くなり、劣化が進んでしまいます。また、温調を止める終業点検の時間が遅くなった場合も同じです。温調時間はできるだけ短くなるように注文状況を見ながら調節してください。

効果： 温調時間を短くすると、処理液の劣化が少なくなります。

### 5. ショートリーダーの洗浄

現像に使用したショートリーダーには、僅かですが処理薬品が付着し残っています。そのまま次の現像に使用すると発色現像タンク内に薬品が混入（コンタミ）することになりますので、一度使用したショートリーダーは必ず洗浄し、よく乾燥させてから使うようにしてください。

効果： 毎回ショートリーダーを洗浄すると、処理液の劣化が小さくなります。

### 6. ケミカルフィルターの交換

プロセサーのサブタンクには、処理液に入ったゴミや固形不純物を取り除くためのケミカルフィルターが取り付けられています。このフィルターが詰まると、処理液の循環が弱くなり現像レベルに影響を及ぼすことがありますので、定期的な交換を行うようにしてください。

（詳しいメンテナンスの方法につきましては、プロセサーに添付のマニュアル等を参照してください）

効果： 定期的なフィルターを交換すると、現像レベルが安定します。